

1 公共的な空間をつくる私たち

POINTS

★1 青年期と自己形成

- a. 青年期の特徴 通過儀礼（イニシエーション）…成人式など。第二性徴。自我のめざめ。「第二の誕生」（ルソー）。境界人（周辺人、マージナル・マン）。心理的離乳。第二反抗期
- b. 青年期の課題 エリクソンは発達課題を八つに区分（ライフサイクル）。各段階に発達課題。モラトリアム…青年期は、一時的に社会的な責任や義務を猶予される期間→アイデンティティの確立
- c. 欲求と防衛機制 欲求（フラストレーション）や葛藤（コンフリクト）を合理的に解決できない→危機的状况を無意識に回避（フロイトの防衛機制）

防衛機制	抑圧	欲求の抑え込み	合理化	理由をつけて納得	同一視	物語の人物などに自分を同化
の例	反動形成	望みと反対に行動	退行	幼児化	昇華	社会的なものに情熱を向けて代替

マズローの欲求階層説。適応→パーソナリティ(人格)や個性の形成。自己実現。多様な性（LGBT など）

- d. 人間の定義
- ホモ・サピエンス（リンネ）。ホモ・ファールベル（ベルクソン）。ホモ・ルーデンス（ホイジンガ）

★2 人間としての自覚

- a. 古代ギリシャの思想

ソクラテス	「善く生きること」＝徳（アレテー）。魂への配慮。問答法。「無知の知」
プラトン	イデア論。エロース。哲学＝愛知の精神。哲人政治（『国家』）
アリストテレス	中庸を重視する道徳（『ニコマコス倫理学』）。正義論。人間は「ポリスの動物」

- b. 中国の思想 孔子…儒家の祖、仁と礼。孟子…性善説。荀子…性悪説。老子…無為自然
- c. 世界の主な宗教 民族宗教（民族ごとに信仰）と世界宗教（民族の枠を超え人々の救済を説く）がある

宗教	キリスト教	イスラーム	仏教
創始者・開祖	イエス	ムハンマド	ガウタマシッダールタ（ブッダ）
信仰の対象	父なる神、子なるイエス、聖霊	アッラー	仏
主な経典	『新約聖書』『旧約聖書』	『クルアーン（コーラン）』	種々の仏典

主な教え	神の愛（アガペー）と隣人愛。原罪とその贖罪（パウロ）	神への絶対帰依。六信・五行（礼拝，断食，喜捨など）の実践	縁起の法（諸行無常など）。八正道の実践・慈悲
主な宗派	カトリックとプロテスタントなど	スンナ（スンニー）派とシーア派	上座部仏教と大衆部（大乘仏教）

★3 日本人としての自覚

- 伝統思想 アニミズム。清明心。「ケガレ」→祓や禊。八百万の神。年中行事。ハレの日とケの日
- 仏教の受容と普及 聖徳太子。鎮護国家の思想。天台宗の最澄（法華一乗思想）。真言宗の空海（即身成仏）
- 鎌倉仏教の主な宗派

宗派	浄土宗	浄土真宗	時宗	臨済宗	曹洞宗	日蓮宗
開祖	法然	親鸞	一遍	栄西	道元	日蓮
中心事項	専修念仏	絶対他力，悪人正機	踊念仏	公案禅	只管打坐，修証一等	法華経，題目

- 儒学と国学

儒学	朱子学…林羅山。陽明学…中江藤樹。古学…伊藤仁斎，荻生徂徠
国学	本居宣長…「漢意」を批判，「真心」を説く

- 日本の近代化と独創的な思想

福沢諭吉	独立自尊の精神を説いた。「実学」	西田幾多郎	「純粹経験」の重視。『善の研究』
中江兆民	自由民権運動に影響，「恢復的民権」	和辻哲郎	「間柄的存在」。「風土」の類型化
内村鑑三	キリスト教と武士道，「二つの J」	柳田国男	民俗学を創始。「常民」
夏目漱石	「内発的開化」「自己本位」		

STAGE A 用語チェック

★1 青年期と自己形成

- ☐① 自我に目覚め自立する青年期を表現したルソーのことばは何か。
- ☐② 思春期に見られる、性ホルモンの分泌で現れる身体上の性差を何というか。
- ☐③ お宮参り・七五三・成人式・結婚式など、人生の節目の儀礼を何というか。
- ☐④ 親への心理的依存から脱し、意思決定できるようになることを何というか。
- ☐⑤ 自我に目覚め、親からの精神的自立を目指して反抗する時期を何というか。
- ☐⑥ 子どもから大人への境目にある青年の状況を示したことばは何か。
- ☐⑦ ⑥のことばを用いた心理学者は誰か。
- ☐⑧ 社会的な責任や義務を免除された猶予期間を意味することばは何か。
- ☐⑨ 自我同一性と訳される、自分であることの確信を意味することばは何か。
- ☐⑩ ⑧や⑨のことばを用いたアメリカの心理学者は誰か。
- ☐⑪ 生活と周期の合成語で、人生の周期を意味することばは何か。
- ☐⑫ ⑪の発達段階に依拠して課せられ、達成を求められる社会的な期待や要請は何か。
- ☐⑬ 青年期に⑫の達成に失敗したことで、自分がわからず混乱する状態を何というか。
- ☐⑭ 青年期の⑫について、⑩の人物とは別に整理したアメリカの心理学者は誰か。
- ☐⑮ 生理的欲求に対し、集団への所属・名誉・生きがいなどを求める欲求は何か。
- ☐⑯ 欲求が充足されず、精神的に不安定になる状態を何というか。
- ☐⑰ ⑯に対して無意識に自己の精神的安定をはかることを何というか。
- ☐⑱ ⑰など、人間の深層心理を明らかにした精神医学者は誰か。
- ☐⑲ 求めても得られないとき、理由をつけて自分を納得させる⑰を何というか。
- ☐⑳ 苦しい場面から気持ちや身体が逃げ出す⑰を何というか。
- ☐㉑ 獲得できなかった欲求を別の対象で満たす⑰を何というか。
- ☐㉒ 同程度の欲求が複数あり、選択することが困難な状態を何というか。
- ☐㉓ 「～したい」欲求と「～したくない」欲求との対立である、㉒の型は何か。
- ☐㉔ 自分の能力や個性を発揮し、自己を完成させていくことを何というか。
- ☐㉕ 生理的欲求から一番上の㉔の欲求まで、5段階で整理した説を何というか。
- ☐㉖ ㉕の説を提唱したアメリカの心理学者は誰か。
- ☐㉗ 気質、能力、性格の三要素を含んだ、個人の全体的な特徴を何というか。
- ☐㉘ 既成文化や大人文化に対抗する青年独自の様式や価値志向を何というか。
- ☐㉙ 生物学的な性別に対して、自分が認識している「こころの性」を何というか。
- ☐㉚ 自己の恋愛などの対象となる性別についての関心の方向性を何というか。

☐③① 性的マイノリティ（性的少数者）の総称を何というか。

☐③② ②⑨と③⑩の英語の頭文字をとった、性のあり方に関わる概念を何というか。

① _____ ② _____ ③ _____

④ _____ ⑤ _____ ⑥ _____

⑦ _____ ⑧ _____ ⑨ _____

⑩ _____ ⑪ _____ ⑫ _____

⑬ _____ ⑭ _____ ⑮ _____

⑯ _____ ⑰ _____ ⑱ _____

⑲ _____ ⑳ _____ ㉑ _____

㉒ _____ ㉓ _____ ㉔ _____

㉕ _____ ㉖ _____ ㉗ _____

㉘ _____ ㉙ _____ ㉚ _____

㉛ _____ ㉜ _____

① 第二の誕生

② 第二性徴

③ 通過儀礼（イニシエーション）

④ 心理的離乳

⑤ 第二反抗期

⑥ 境界人（周辺人，マージナル・マン）

⑦ レヴィン

⑧ モラトリアム

⑨ アイデンティティ

⑩ エリクソン

- ⑪ ライフサイクル
- ⑫ 発達課題
- ⑬ アイデンティティの拡散
- ⑭ ハヴィガースト
- ⑮ 社会的欲求
- ⑯ 欲求不満（フラストレーション）
- ⑰ 防衛機制
- ⑱フロイト
- ⑲ 合理化
- ⑳ 逃避
- ㉑ 代償
- ㉒ 葛藤（コンフリクト）
- ㉓ 接近－回避（型）
- ㉔ 自己実現
- ㉕ 欲求階層説
- ㉖ マズロー
- ㉗ パーソナリティ（人格）
- ㉘ 若者文化（ユースカルチャー）
- ㉙ 性自認
- ㉚ 性的指向
- ㉛ LGBT
- ㉜ SOGI

STAGE B 問題演習

1. 【青年期の特徴と意義】 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

フランスの思想家〔 A 〕は、著書『エミール』で、青年期の特徴を「(①)」と表現した。この時期に身体的に成熟し、(②)といわれる性的な特徴が現れてくる。そして、精神的にも、親への依存からの(③)が起こる。他人とは異なる自分らしさを意識する(④)は、(⑤)といわれるような大人に対する反発や批判的態度になって現れることもある。心理学者〔 B 〕は、青年を境界人（周辺人，マージナル・マン）とよんだ。

問 1 空欄 (①) ～ (⑤) に適する語句を次から一つずつ選べ。

- ア．第二反抗期 イ．第二次性徴 ウ．第二の誕生 エ．心理的離乳
オ．自我のめざめ

問 2 空欄〔 A 〕〔 B 〕に適する人名をそれぞれ答えよ。

問 3 下線部のことばは青年のどのような特徴を表現したものか。簡潔に説明せよ。

問 1 ① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____

問 2 A _____ B _____

問 3 _____

問 1 ①ウ ②イ ③エ ④オ ⑤ア

問 2 A ルソー B レヴィン

問 3 (例) 身体的には大人だが、精神的にはまだ子どもの要素を残している青年の特徴を表現したもの。

STAGE C 共通テスト対策演習

★1 青年期と自己形成

(1) 青年期の発達に関する記述として最も適切なものを次から一つ選べ。

〔共通 21 第 1 (現社)〕

- ① ルソーは、「ライフサイクル」という語を用いて、乳児期から青年期を経て成熟期（老年期）にいたる八つの期からなる人間の発達について論じた。
- ② 青年期に、親をはじめとする大人の保護や監督から離れ、精神的に自立していくことは、「心理的離乳」とよばれる。
- ③ ユングは、子どもから大人への過渡期にあり、子どもの集団にも大人の集団にも安定した帰属意識をもてない青年を「境界人」とよんだ。
- ④ エリクソンによる「心理・社会的モラトリウム」とは、アイデンティティを確立できず、自分がどのような人間なのかを見失った状態をさす。

②

(2) 葛藤を感じたときの対処のしかたに関する次の記述ア～ウと、それぞれに対応する防衛機制の種類（型）の名称 A～C との組合せとして最も適切なものを下から一つ選べ。

〔共通 17 試行 (現社)〕

ア 苦手な人と話をするとき、気持ちとは反対に、思わず笑顔でその人に対応してしまう。

イ 友達とけんかをしてイライラしたときに、たまたま家にいた家族に意地悪なことを言うってしまう。

ウ 仲間たちの間で流行している服が欲しいが、値段が高くて買えないときに、「どうせすぐに、はやらなくなる」と考えてしまう。

A 合理化 B 反動形成 C 代償

- ① アーA イーB ウーC ② アーA イーC ウーB
- ③ アーB イーA ウーC ④ アーB イーC ウーA
- ⑤ アーC イーA ウーB ⑥ アーC イーB ウーA

④

(3) 欲求に関して、次の文章中の A ～ C に入る語句の組合せとして最も適当なものを下から一つ選べ。 [センター19 本試 (現社)]

アメリカの心理学者マズローに従えば、人間の欲求は階層性を成す。この階層は大きく欠乏欲求と成長欲求の二層に大別される。欠乏欲求は、生理的欲求を基盤とし、心理的発達とともに、恐怖と危険を回避するような A の欲求が強まり、A の欲求がほぼ充足されると、他人とのかかわりを求めるような B の欲求が強まり、B の欲求がほぼ充足されると、自尊心や他者からの尊敬を求めるような C の欲求が強く現れる。マズローの考えでは、人間の欲求は、これらの生命維持や、不安や緊張の解消に必要な四つの欠乏欲求が充足されても、自分に適していることをしていないと満足できず、自己実現の欲求に動機づけられる高次の成長欲求が現れる。

- ① A 所属と愛 B 安全 C 承認
- ② A 所属と愛 B 承認 C 安全
- ③ A 安全 B 承認 C 所属と愛
- ④ A 安全 B 所属と愛 C 承認
- ⑤ A 承認 B 所属と愛 C 安全
- ⑥ A 承認 B 安全 C 所属と愛

④